

令和4年度

社会教育課

社会教育事業報告

郷土資料館

読書推進課

恵庭市教育委員会

－ 目 次 －

1. 社会教育課

(1) 家庭教育	P. 1
(2) 青少年教育	P. 2
(3) 成人教育	P. 7
(4) 高齢者教育	P. 8
(5) 女性活動支援	P. 1 1
(6) 地域教育	P. 1 2
(7) 文化振興	P. 1 4
(8) 公民館	P. 1 7
(9) かしわのもり	P. 1 9

2. 読書推進課

(1) 読書推進	P. 2 1
----------	--------

3. 郷土資料館

(1) 郷土資料館	P. 2 7
-----------	--------

【社会教育課】

領域：家庭教育

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	家庭教育支援事業 * 学びカフェ推進事業	4月21日 5月28日 6月30日 7月20日 8月25日 9月16日 10月20日 11月23日 1月18日	まちづくりスポット恵み野 夢創館(おもしろ理科実験教室) まちづくりスポット恵み野 まちづくりスポット恵み野 まちづくりスポット恵み野 恵庭市民会館(第2会議室) まちづくりスポット恵み野 えにあす会議室1、2、3 (えにわままっぷ5内) まちづくりスポット恵み野	61名・大人と子ども * オンライン(Zoom)同時開催 (前年度58名・大人と子ども)	家庭教育ナビゲーターが中心となり、子育てや家事など様々な話題で交流を行いながら、緩やかな学びあいの場「はびナビカフェ あたしん家」を実施し、市内の保護者すべてが学びの機会に触れることができる環境を整備。 4月21日「アナログゲームで仲良くなろう！」 5月28日「「えにわはびナビカフェ」に来てみない？」 6月30日「オススメのあそび場情報！」 7月20日「夏休み直前！どこ行く？宿題どうする？」 8月25日「子どもの預け先についてみんなで話してみよう！」 9月16日「依存症と安心できる居場所づくり～サードプレイスとは？～」(兼家庭教育ナビゲータースキルアップ研修会) 10月20日「時間がない！そんな時どうしてる？朝ごはん＆お弁当」 11月23日「気軽にママ・パパ同士で話しましょう！」 1月18日「ママも子供達も運動不足を解消しよう」	6	[主催] えにわはびナビネットワーク [支援] 社会教育課 [協力] まちづくりスポット恵み野
	* えにわままっぷ	11月23日	えにあす会議室1、2、3	45名・大人と子ども	えにわままっぷ実行委員会が中心となり、親子を対象に子育てに役立つ体験や、子どもたちが遊べるスペースを提供。 講座 ・「ベビーマッサージ」 講師：Cocoro 納谷史織氏 ・「知育・足育」 講師：tetteもみじ 岡田詩織氏 その他 ・学生企画(新聞プール、段ボールお絵描きパズル) ・活動紹介掲示企画 (家庭教育ナビゲーター・北海道文教大生) ・はびナビカフェブース	51	[共催] えにわままっぷ実行委員会

継続	家庭教育支援者の養成とネットワーク化推進事業 * 家庭教育ナビゲータースキルアップ研修会	9月16日	恵庭市民会館(第2会議室)	15名・大人と子ども * オンライン(Zoom)同時開催	講義や演習により家庭教育ナビゲーターの資質向上を図り、家庭教育支援者ネットワーク化の必要性についての理解を深める。また、情報交流を通して、家庭教育支援活動等の一層の充実を目指す。 講義：依存症と安心できる居場所づくり ～サードプレイスとは？～ 講師：ASK認定依存症予防教育アドバイザー兼全日本青少年育成アドバイザー 石上一美氏	3	[協力] えにわはぴナビネットワーク
	* 家庭教育ナビゲーター養成研修	12月7日	えにあす会議室8-1、8-2、8-3 (託児用：会議室7)	20名 家庭教育ナビゲーター・ 家庭教育支援活動に関心がある方 (前年度20名)	家庭教育ナビゲーターの役割や心構えについて学び、家庭教育に対する興味関心を高め、新たな担い手を育成する。 ・ 講座：子育てに役立つ絵本の紹介や読み聞かせ (水野みどり氏) ・ 家庭教育ナビゲーター講習 (石狩教育局教育支援課社会教育指導班) ・ えにわはぴナビネットワーク活動紹介 (はぴナビネットワーク代表) ・ 恵庭市の子育てに関する情報提供 (保健課、読書推進課)	4	道主催(市共催)事業 [協力] えにわはぴナビネットワーク

領域：青少年教育

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	少年の主張中学校大会	5月24日 (ビデオ審査)	恵北中学校	市内中学校各1名(5校)	青少年が、日常生活の中で体験し考えている事柄を広く発表する機会を設けることで、青少年の自我形成を助長するとともに、あわせて青少年の健全育成及び非行防止に対する市民の理解を深める契機となることを目指します。(コロナ禍のため各校代表者の録画ビデオによる審査を実施、各校校長室にて表彰。) 表彰：最優秀賞1名(石狩地区大会 優秀賞) 優秀賞4名 最優秀賞 永野柚子さん 恵み野中学校3年「一人一人の「食」を」	22	[主管] 中文連

継続	えにわっ子ジュニアセミナー2022		国立日高青少年自然の家 ※野外炊飯活動等の研修活動ができる設備が整っている施設を使用。		市内小学生が、レクリエーション活動、野外活動、ボランティア活動など、地域の子どものリーダーとしての役割を担うため、必要な知識や技能、社会性を異年齢との交流、宿泊体験、集団行動を通じて学びます。 シニアリーダー「つくしの会」が中心となり、野外活動や、話し合いの手法など、遊びを交えながら互いに研鑽します。野外炊飯やその他自然環境、集団生活活動、様々な育成活動に適した日高青少年自然の家を活用しています。	229	[共催] 恵子連
	* 前期	7月30日 ～31日		市内小学4年生～6年生 27名 (前年度0名)	市教委3名、恵子連役員2名、つくしの会6名、講師1名		
	* 後期	2月4日 ～5日		市内小学4年生～6年生 21名 (前年度0名)	市教委2名、恵子連役員1名、つくしの会4名、北海道文教大学こども発達学科3名		
継続	2023年恵庭市はたちのつどい (旧成人式)	1月8日	市民会館大ホール	487名 (男性246名、女性241名) (前年度482名) (男性252名、女性230名)	式典を通して、成人としての自覚を持っていただくとともに、ふるさと「恵庭」への愛着を一層高めることを目的として実施。 ・アトラクション（恵庭岳太鼓保存会） ・式典 ※実行委員企画（参加者からのメッセージ掲載） ※はたちの広場（感染症対策のため中止）	821	対象者：法改正後も20歳の市民を対象。 平成14年4月2日～ 平成15年4月1日生まれの方
継続	文化功労者・スポーツ功労者・青少年表彰式	11月2日	市民会館中ホール	青少年団体活動者賞(団体) 2団体 優良勤労青少年賞 2名 ※青少年善行者賞、青少年団体活動者賞（個人） 申請なし	恵庭市の青少年健全育成に貢献された方々を顕彰。文化功労者・スポーツ功労者表彰と合同で実施。 ◆ 青少年団体活動者賞（団体） ・黄金中央町内会子ども育成部 ・北海道文教大学食育ボランティア愛好会 ◆ 優良勤労青少年賞 ・藤原結女 氏 ・本吉隆 氏	69	※青少年表彰にかかる費用（表彰額）
継続	青少年育成事業 (青少年育成事業補助金)	通年			■ 青少年・文化振興基金を運用し、青少年の健全育成に関わる各種事業に対し、補助金を交付する。交付の決定は、青少年育成事業補助金審査委員会で審査する。 ■ 交付事業（6月27日審査決定） ・夏休み子ども放送局（榊あいコミ） ・夢道教室2022（（一社）恵庭青年会議所） ・スウェーデン・ルシアを迎える会 （スウェーデン・ルシアを迎える会実行委員会）	146	
継続	恵庭市子ども会育成連合会支援事業 (恵庭市子ども会育成連合会運営費補助金)	通年			■ 町内会育成部(子ども会)の連合組織である子ども会育成連合会の活動を支援または共催することで、青少年健全育成を推進する。 ・各種育成事業の実施、研修派遣等 ・ジュニアリーダー育成他	586	

継続	恵庭市青少年育成市民の会支援事業 (恵庭市青少年育成市民の会運営費補助金)	通年			■青少年健全育成に係る啓発事業、並びに青少年国際交流事業の推進に係る活動を支援する。 ●夏の青少年健全育成強調月間関係(7月) ・強調月間周知ポスターの作成・掲示 ・知事メッセージ伝達(7/2 市長表敬伝達) ・道青少年健全育成条例に基づく立入調査(7月19日) ●秋の青少年健全育成強調月間関係(11月) ・強調月間周知ポスターの作成・掲示 ・道青少年健全育成条例に基づく立入調査(11月15日) ・恵庭市青少年育成市民のつどい(11月19日) 市民に対し、青少年団体等の活動発表等を通して、青少年の健全育成への理解を深め、青少年活動の一層の推進を呼びかける機会とする。 【活動発表団体】 ①北海道恵庭南高等学校 新体操部 ②岡部ダンススクール ③恵庭少年少女合唱団育成会 ④恵庭・恵み野剣道スポーツ少年団 ⑤北海道恵庭北高等学校 書道部 ●青少年育成地域懇話会(8月26日) ・公益財団法人北海道青少年育成協会との共催 ・地域全体で青少年育成への理解を深めるとともに、活動の活性化を図ることを目的とする。 ・懇話会テーマ：ネット社会に生きる恵庭の子ども達を育むために ・講話：子どものSNSやインターネットの問題を考える ～大人は何をすべきか～ 講師：北翔大学教育文化学部心理カウンセリング学科 教授 飯田 昭人 氏 ・意見交流 コーディネーター：北海道教育庁石狩教育局社会教育指導班 社会教育主事 小田島 美雪 氏 ●国際交流派遣事業(ニュージーランド・ティマル市) ・派遣者：3名(恵庭南高等学校2名、恵明中学校1名) ・派遣期間：令和5年3月12日～4月1日 ・募金活動(中止) ※恵庭市青少年育成市民の会の会長が石狩地区青少年育成運動推進指導委員会の会長となったため、令和2年度～令和4年度まで事務局を務めている。 ※恵庭市補助金 400,000円	79	
----	--	----	--	--	---	----	--

領域：青少年教育（「恵庭子ども塾」関連）

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	おもしろ理科実験教室	5月28日	夢創館	子ども102名・小学2～中学2年生、 保護者 19名、同伴者 40名 合計 161名 (前年度0名)	理科実験を通じて科学に親しみ、「不思議」を子どもが体験すること で、探求心や学習意欲を高める。また、会場の一部に「はびナビカ フェブース」を設置し、子育て等の相談を実施することで、保護者に 家庭教育事業のアプローチを図る。 小学2～4年生対象(子ども81名、大人17名、同伴35名) ①偏光万華鏡づくり ②クラッカーづくり ③水のふしぎ ④スライムづくり ⑤圧力ってなあに？ 小学5～中学2年生対象(子ども21名、大人2名、同伴5名) ①偏光万華鏡づくり ②クラッカーづくり ③水のふしぎ ④圧力ってなあに？ ⑤浮力の違い	47	[共催] えにわはびナビネットワーク [協力] 千歳科学技術大学理工工房
新規	はじめてのYouTuber体験	7月23日 8月6日	Do! Kids Lab 恵庭本校 Do! Kids Lab 恵庭中島校	子ども16名・小学4～中学2年生、 同伴者8名 合計 24名 子ども13名・小学4～中学2年生、 同伴者11名 合計 24名	2021年小中学生がなりたい職業第1位である「YouTuber」。数年前ま では存在しない職業であったが、コロナ禍により家時間が増え、画面 の向こう側を身近に感じる機会が増えた。クリエイティブな世界の需 要が増えている今日、子どものあらゆる可能性の開花に期待し、夢へ の一步とする。 ①自分のチャンネルを紹介する様子を撮影 ②撮影動画を編集 (フェードイン・アウトリミング、テロップ・効果音入れ、配色変更等) ③作成動画発表	87	[協力] Do! Kids Lab
継続	ふるさと再発見！もりもり探検隊 ～馬と森の体験～	10月2日	北清の森、郷土資料館	子ども28名・小学4～6年生 保護者見学1名	多様な学習や体験を通し、子どもたちの興味関心の幅を広げ、学びを 促進する。ふるさと教育の実践や集団活動を通し、社会性・協調性、 地域を大切にする心を育む。 ボランティア4名(北海道文教大生3名、和光小教諭1名) ①木の伐採、馬搬の見学・体験 ②馬とのふれあい、えさやり、馬車体験 ③焚火体験・焼き芋づくり ④キーホルダー・コースターづくり ⑤木に関するクイズ ⑥郷土資料館見学(学芸員による解説)	99	[協力] 西埜馬搬 恵庭ふるさと100年の森

継続	えにわ大好き！食の体験ランド	10月16日	北海道文教大学 しみずファーム	子ども17名・小学4～6年生 (前年度親子6組※オンライン開催)	テーマ食材を決め、畑での収穫体験や大学での調理体験、ワークショップを行い、生産者と消費者の繋がりを、地産地消について学習し、食についての理解を深める。 テーマ食材：ブロッコリー ①北海道文教大生による食育クイズ、ワークショップ ②調理体験 ③ルーキーズカンパニーによる農場体験 (ブロッコリー収穫、農業機械見学)	32	[共催] 北海道文教大学 ルーキーズカンパニー
継続	体験チャレンジDAY	12月25日	恵庭市民会館大会議室	子ども29名・小学2～6年生	友好都市である藤枝市の高校生にお茶の産地、栽培方法や生態、お茶の淹れ方、味わい方を学ぶことで、日本人になじみ深いお茶について学び、恵庭市と藤枝市の文化や特徴を知り、ふるさとの認識を深める。 また、スノードームを自分なりに作成することで、創意工夫しものを作ることを体験する。 藤枝市役所2名、藤枝茶楽研究部(高校生)4名 北海道文教大学学生ボランティア7名 ・お茶講座(藤枝茶楽研究部) ① 藤枝のお茶の説明 ② 茶器の説明、一煎目～三煎目淹れ方説明・実践 ③ お茶クイズ ・スノードームづくり(恵庭市社会教育課)	37	[共催] 静岡県藤枝市 [協力] 北海道文教大学学生ボランティア

領域：成人教育

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	リカレント公開講座 * 北海道文教大学公開講座		北海道文教大学		■市内高等教育機関が開催の学習機会に長寿大学学生が参加。 10/ 6 看護学教育の歴史と現状 10/ 9 民族楽器の魅力 - ロビン・ロイド氏を迎えて - 10/12 暮らしの保健室② 10/13 認知症の理解と対応 10/17 明治の青春 5 同盟休校事件と学園封鎖 —旧制中学校「学友会雑誌」に見る青春群像— 10/20 子どもに自分の病気をどう伝えるか 10/28 人間関係の心理学 11/ 1 元気な暮らしを支える作業療法 11/ 2 高齢者のサルコペニア、フレイル予防について遺伝子や生活習慣に着目して考える 11/ 2 暮らしの保健室④ 11/ 4 スポーツと栄養の関係 11/10 マイペースの健康づくり ～頑張らないスポーツのススメ～ 11/10 元気な時から考える医療事前指示書 (1) 11/14 高齢者の肘の痛みの治療とリハビリテーション 11/14 いざという時に役立つ介護保険の知識 ～安心して在宅療養するために～ 11/15 自立した日常生活を送るための上肢機能について 11/17 元気な時から考える医療事前指示書 (2) 11/18 認知機能と脳のふしぎ 11/21 働く人のメンタルヘルス：ワークエンゲイジメントとマインドフルネス 11/29 脳卒中のリハビリテーション-なったらどうする？ -ならないためにできることは？- 11/29 ウイッシュリスト (Wish List) からあなたのいのちを感じましょう ～作業療法が出来ること～ 1/30 今知っておきたい最新のリハビリテーション	0	※長寿大学生は単位として認定

継続	えにわ学講座				内容：恵庭の歴史や魅力などを総合的に学ぶ。	35	※長寿大学生は単位として認定。
	* 前期	9月10日	恵庭市内（視察）	17名 （前年度0名）	テーマ：『むかし恵庭にあった鉄道跡を訪ねてみよう』 講 師：恵庭市郷土資料館 主査 大林 千春 氏 コース：島松駐屯地裏→島松駅付近→漁川発電所→旧盤尻小中学校校跡地→えにわ湖桜公園付近鉄道跡→恵庭発電所→恵庭市約四駐車場→恵庭駅付近		
	* 後期	2月28日	市民会館（中ホール）	16名 （前年度16名）	テーマ：『恵庭の歴史を探る』 ～カリンバ遺跡調査を通して～ 講 師：恵庭市郷土資料館 主査 長町 章弘 氏		
新規	残された戦後、記者が見た硫黄島 -恵庭の記者だった僕が、 激戦地硫黄島に渡ったわけ-	11月27日	えにあす ホール	50～60名	北海道新聞社東京支社報道センター酒井記者による激戦地硫黄島に残された状況についての取材に執念を燃やす記者魂の報告会を開催。 「硫黄島で戦闘が終わって70数年たっても、世界のどこかで戦争が起きている」戦争の悲惨さを知り、人間が起こす争いをセーブするすべを学び、次世代に「争いのない世界」を継承する。 *当日オンライン配信有り	0	*まちづくりチャレンジ協働事業 [主催] NPO法人えにわ市民プラザ・アイル 北海道新聞千歳支局 [協力] 地域FM放送e-niwa

領域：高齢者教育

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	長寿大学(大学・大学院)	年20回			高齢社会にふさわしい学習の機会を多くし、高齢者が生きがいを見つけ、社会活動に参加し、健康で楽しい生活ができることを目指す。14年度からは新たに大学院の新設をした。新入生17名・大学院生18名が加わり学生総数120名(男36名・女84名)により学習を開始した。 3月31日現在、116名在籍。 大学4年から大学院1年に16名が進級。	819	会場については、原則的に市民会館を利用するが、3密を避けるため、中ホールと大会議室、また、人数を上限100名・50名と限定して行った。また、講座に関しては、新型コロナウイルスの感染防止から、3密を避けるための対応を十分に考慮して行った。
		4月13日	中ホール	115名	■入学式及び自治会総会 (今年度学生総数 120名で始業 ※内新入生17名、大学院進級生18名)		
		4月27日	中ホール、大会議室	101名	■学年別研修（※学年別ホームルーム） 各学年ごとの交流を深めながら、学年内行事等について話し合った。1年生については、大学事務局が進行を担当し、代表幹事の選出に係わっては、自治会事務局も同席した。そのほかの学年は役員が担当した。 また、3密を避けるため、6学年を午前と午後に分けて実施した。		

5月18日	中ホール、大会議室	108名	①高齢生活「うつ病の予防・リハビリテーション」 講師 村上元 氏（日本医療大学保健医療学部） ②まちづくり 「ガーデンフェスタ北海道2022の概要について」 講師 上山謙太郎 氏 （市経済部全国都市緑化北海道フェア推進室）		
6月2日	中ホール、大会議室	92名	①生活文化「楽しい毎日を過ごすコミュニケーション」 講師 石垣則昭 氏（北海道文教大学人間科学部） ②まちづくり「HUG避難所訓練①②」 講師 谷口和三（市総務部）		
6月15日	中ホール、大会議室、 恵庭市立図書館	100名	①一般教養「命を守る水 見直そう！水分補給」【連続講座】 講師 馬場由紀子 氏（株式会社明治） ②高齢生活「在宅医療と介護①」【連続講座】 講師 甲斐昌恵 氏、白杵愛美 氏（恵庭市在宅医療介護支援センター） ③まちづくり「図書サービスボランティアの実践」 講師 相馬立法 氏、神百合愛 氏（恵庭市立図書館）		
6月22日	市外施設見学	52名	■前期研修旅行 （平取町立二風谷アイヌ文化博物館、平取町アイヌ工芸伝承館）		
7月6日	中ホール、大会議室	101名	①一般教養「チョコレートの世界へようこそ！」【連続講座】 講師 馬場由紀子 氏（株式会社明治） ②高齢生活「在宅医療と介護②」【連続講座】 講師 甲斐昌恵 氏、白杵愛美 氏（恵庭市在宅医療介護支援センター） ③まちづくり「図書サービスボランティアの実践」 講師 相馬立法 氏、神百合愛 氏（恵庭市立図書館）		
7月20日	市内施設見学	80名	■学外学習 はなふる散策		
7月27日	中ホール、大会議室	79名 一般参加者1名	■全体学習 「子ども・若者のメンタルヘルス」 講師 村澤和多里 氏（札幌学院大学心理学部）		市民オープンカレッジ （長寿大学公開講座）
9月7日	中ホール、大会議室	90名	■学年別研修（※学年別ホームルーム） 各学年ごとの交流を深めながら、9月以降の学習プログラムの確認や コロナ禍にあつての各種変更事項等について説明を行った。 また、3密を避けるため、6学年を午前と午後に分けて実施した。		

9月21日	中ホール、大会議室	100名 一般参加者13名	■全体学習 「弦楽器の魅力的な音色を楽しむ」 講師 瀧本志保 氏、後藤美和子 氏（演奏家）		市民オープンカレッジ （長寿大学公開講座）
10月5日	中ホール、大会議室	100名	①高齢生活「高齢者の口腔ケアについて」 講師 中野杏 氏（市保健福祉部介護福祉課） ②まちづくり「秋の庭の管理と植栽体験」 講師 竹内利樹 氏（市経済部花と緑・観光課）		
10月12日	市外施設見学	24名	■後期研修旅行 （平取町立二風谷アイヌ文化博物館、平取町アイヌ工芸伝承館）		
10月19日	中ホール	93名 一般参加者3名	①生活文化「日常生活のICT化について」 講師 由水伸 氏（星槎道都大学） ②高齢生活「高血圧から身を守ろう～皆さんの疑問に答えます～」 講師 島本和明 氏（日本医療大学）		①市民オープンカレッジ （長寿大学公開講座） ②恵庭市健康づくり講演会を 兼ねる（市保健課）
11月16日	中ホール、大会議室	99名	①生活文化「キャッシュレスを学ぶ」 講師 比嘉紘敬 氏（SMBCコンシューマーファイナンス） ②一般教養「恵庭の記念碑と野外彫刻」 講師 土屋武彦 氏（長寿大学OB）		
12月7日 ～12日	大会議室	31名	まちづくり「救命救急講習」 講師 7日：一戸 氏（市消防署）、政田 氏（女性消防団） 9日：早苗 氏（市消防署）、福家 氏（女性消防団） 12日：疋田 氏（市消防署）、佐藤 氏（女性消防団）		
12月13日	中ホール	31名	①生活文化「ベットと楽しく過ごすために」 講師 山美希実 氏（北海道エコ・動物自然専門学校）		
12月21日	中ホール	86名 一般参加者7名	■全体学習 「平安女性の苦悩～六条御息所への共感～」 講師 田中幹子 氏（札幌大学）		市民オープンカレッジ （長寿大学公開講座）
1月18日	中ホール、大会議室	94名	①自主学習「自彊術」 講師 永井康子 氏（大学院1年生） ②自主学習「海外で活躍した恵庭人～スリランカ文化～」 講師 盛 和彦 氏（大学院2年生） ③自主学習「健康法 太極拳」 講師 佐藤登代子 氏（大学4年生）		
2月15日	中ホール、大会議室	106名	①一般教養「生活に密着したビクトグラムの由来と変遷」 講師 道尾淳子 氏（北海道科学大学） ②一般教養「特殊詐欺から身を守る」 講師 高倉優奈 氏（千歳警察署生活安全課）		①市民オープンカレッジ （長寿大学公開講座）

		3月1日 ～3日	大会議室、視聴覚室	95名	■学年別研修（※学年別ホームルーム） 令和5年度講座の履修希望の確認、新年度オリエンテーション、卒業式・修了式について説明を行った。 また、3密を避けるため、6学年を午前と午後に分けて実施した。		
		3月17日	中ホール	大学4年生（対象：32名） 大学院2年生（対象：20名）	■行事 卒業式・修了式 ※感染対策のため、対象学年のみで実施。		

領域：女性活動支援

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	女性団体活動者研修会	10月24日	市民会館大会議室	19名 (前年度 0名)	■趣旨：明るく健やかな地域社会の確立において、女性の果たす役割は大きく、必要不可欠となっていることから、地域における女性活動の活発化を図るため、広い視野での情報・知識習得の機会を展開する。 テーマ：アロマを使ってセルフケア ～コロナ禍で役立つアロマ活用術～ 講師：douceur+n* 鈴木 亜季子 氏 内容：精油による効能を学び、感染予防のためのアロマミスト作り。	46	[共催] 恵庭市地域女性連絡会
継続	女性人材育成セミナー	3月18日	市民会館大会議室	16名（定員20名） (前年度 0名)	■地域で様々な活動に関わる女性の方に、より充実した活動を進めていただけるよう広い視野での情報や知識、技術を提供し、育成及び支援を図ることを目的とする。 テーマ：体験しよう！色彩自然学 『色彩のチカラを借りてこころを元気に！』 講師：（一社）色彩自然学の学校 岸 泉 氏 内容：色彩心理学を基にした、色と心の関係を学ぶ。	49	
継続	恵庭市地域女性連絡会支援事業 (恵庭市地域女性連絡会運営費補助金)	通年			■女性団体の自主的活動を助長し、女性の地位向上に寄与するとともに、連携を深め家庭・地域における女性問題の課題解決に向けた取り組みを支援することで、女性活動の推進強化を図る。	37	

領域：地域教育

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
新規	小学生を対象とした体験事業	6月25日～ 翌2月4日	和光小学校	市内小学校2～6年生	金曜日の午後や休日、長期休業等を利用し、小学生を主な対象とした体験事業を年10回程度開催。多様な体験を通して、大人も子どもも互いに学び合う。 体験学習「びかまる」	0	*まちづくりチャレンジ協働事業 [協働] わかまるクラブ
	* 科学実験	7月22日 10月28日			消える絵、トリックアートを実施。		
	* 農業体験	6月25日 9月3日			1回目は種植えを実施。2回目は野菜の収穫をしたのち、その野菜を使用して作れる料理を考える活動を行った。		
	* DX貿易ゲーム	9月23日			貿易ゲームの拡大版として、実際に段ボールや画用紙を用いて行った。		
	* アダプテッドスポーツ体験会	10月15日			スポーツを楽しみながら、障がいに対しての興味・関心を引き出す活動を行った。（競技：ポッチャ、フリスビードッチ）		
	* パソコンを使わないプログラミング	11月4日 1月27日			プログラミング的思考を用いたゲームに取り組んだ。		
	* 朗読劇 えんとつ町のプペル	1月21～ 22日	北海道文教大学		1日目に配役を決め、朗読・演奏の練習を行い、2日目に参加児童の家族等を招待し、劇を披露した。		
	* 巨大アート	2月4日			体育館に広げた模造紙に、手や足を使って、森の生物や雰囲気を絵画として表現する活動を行った。		
新規	～恵庭市の学校・地域をつなぐ～ コミスクかふえ！（第1回）	6月13日	恵庭市民会館(中ホール)	学校関係者や地域の方々 79名、 関係者等 19名 合計98名	平成29年度から令和3年度までの5ヵ年にて、全小中学校へ学校運営協議会を設置。地域住民や保護者が学校と足並みを揃え、一体となって子どもたちの成長に関わっていく体制づくりに向け、「～恵庭市の学校・地域をつなぐ～コミスクかふえ！」を開催。学校運営に保護者や地域住民が参画することで、子どもや学校、地域が抱える課題の解決を図る。 ①講演：地域と学校が協働で子どもたちを育むためには 講師：全国体験活動ボランティア活動総合推進センター コーディネーター 大坪 直子 氏 ②事例発表：恵庭市の取り組み紹介 発表者：柏小学校 主幹教諭 荒屋 純一 氏、前教頭 奥寺 徳之 氏	33	[共催] コミスクPLUS (教育委員会・まちづくり 恵み野) [協力] 恵庭市社会教育委員の会議 恵庭市生涯学習推進協議会

	～恵庭市の学校・地域をつなぐ～ コミスクかふえ！（第2回）	10月13日	恵庭市民会館(中ホール)	学校関係者や地域の方々 50名、 関係者等21名 合計71名	「コミスクを楽しむ対話の場づくり」 ①講演：保護者が園と関わるしくみとしかけ 講師：恵庭幼稚園 園長 井内 聖 氏 ②みんながつながるきっかけづくり「ワールドカフェを 体験しよう」 ・ 8 テーブル× 3 回で実施し、実施方法も学んだ	20	[共催] コミスクPLUS (教育委員会・まちず 恵み野) [協力] 恵庭市社会教育委員の会議 恵庭市生涯学習推進協議会 ファンらさるチーム「アジト」
	～恵庭市の学校・地域をつなぐ～ コミスクかふえ！（第3回）	1月19日	恵庭市民会館(中ホール)	学校関係者や地域の方々29名、 関係者等18名 合計47名	「コミスクを楽しむ対話の場づくり」 ①話題提供：「子どもの未来は、まちの未来」 講師：認定NPO法人まちづくりスポット恵み野 副代表理事 久保 純一 氏（コミスクPLUS事務局） ②みんながつながるきっかけづくり「ワークショップを体験し よう」 ・ テーブルごとにテーマを分けワークショップによる 協議と実施方法を学んだ	23	[共催] コミスクPLUS (教育委員会・まちず 恵み野) [協力] 恵庭市社会教育委員の会議 恵庭市生涯学習推進協議会 ファンらさるチーム「アジト」
	～恵庭市の学校・地域をつなぐ～ コミスクかふえ！（第4回）	2月21日	恵庭市民会館(中ホール)	学校関係者や地域の方々46名 関係者等14名 合計60名	「地域と学校の連携の深め方を考えよう」 ①趣旨説明：コミスクって何？（恵庭市社会教育課） ②話題提供：「地域と学校が繋がるコミスクの実践事例」 講師：恵み野中学校 校長 丸山 真嗣典 氏 ③地域と学校の連携を深めるには(ワークショップ) 中学校区を目途にテーブルに分かれ、テーマに ついて協議を行った。		[共催] コミスクPLUS (教育委員会・まちず 恵み野) [協力] 恵庭市社会教育委員の会議 恵庭市生涯学習推進協議会 ファンらさるチーム「アジト」
新規	恵庭公園探検隊！ ＊日帰り体験事業支援	雨天中止 (8月2日予定)	恵庭公園	(中止)・恵庭小学校5～6年生	以前は一泊二日の「宿泊体験事業」を実施(恵庭地区通学合宿)し、集団の中で生活体験や異世代間の交流を図っていたが、コロナ禍により「日帰り体験事業」として実施。地域の組織や団体、個人が繋がり、多様な課題を解決できる地域を目指す。 テーマ：恵庭公園の歴史や自然を散策しながら学ぶ	0	[主催] 恵小っ子と地域をつなぐ会(仮) [協力] 社会教育課、郷土資料館、 恵庭まちづくり協同組合
新規	恵み野体験教室(合宿) ＊日帰り体験事業支援	8月27日	恵庭市焼却施設 島田農園	22名・恵み野小学校4～6年生	以前は一泊二日の「宿泊体験事業」を実施(恵み野体験合宿)し、集団の中で生活体験や異世代間の交流を図っていたが、コロナ禍により「日帰り体験事業」として実施。地域にある様々な資源を直接学ぶ事により、一層の地域愛醸成を目指す。 ①恵庭市焼却施設 施設視察と座学により、廃棄物事業と下水道事業が一体となった循環型ゴミ処理システムを学ぶ。 ②島田農園 いちご狩りを通して体験型農業を学ぶ。	20	＊恵庭市通学合宿等助成金 対象事業 [主催] 恵み野小学校区コミュニティスクール 推進協議会

領域：文化振興

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	第67回えにわ市民文化祭				文化団体、サークル等が日頃の活動成果を発表し、文化の輪を広げ地域文化発展に資する。	1,050	前回の開催は令和元年度
	展示部門	10月8～9日	市民会館	693名 ※来場者数 (前回1,094名)	文化協会・市民講座・公民館サークル・一般の出展 (28団体・2個人 計330名の出展)		
		11月1～3日	島松公民館	360名 ※来場者数 (前回1,615名)	市民講座・公民館サークル・一般の出展 (8団体 計75名の出展)		
		11月2～3日	夢創館	129名 ※来場者数 (前回329名)	恵庭美術協会の出展 (1団体 計20名の出展)		
		11月5～6日	花の拠点(はなふる)	777名 ※来場者数 (前回500名)	菊花愛好会の出展 (1団体 計7名の出展)		
	舞台部門	10月15～16日	市民会館	570名 ※来場者数 (前回592名)	文化協会・市民講座・一般の出演 (23団体 計291名の出演)		
		11月3日	島松公民館	521名 ※来場者数 (前回1,900名)	文化協会・市民講座・公民館サークル・一般の4部門の出演 (12団体 計110名の出演)		
継続	文化活動奨励補助金交付事業 (文化活動奨励補助金)	通年			■青少年・文化振興基金を運用し、文化事業の健全な発展に資する対象事業に対し、補助金を交付する。なお、補助交付の申請を受けた事業については、文化活動奨励補助金審査委員会で審査する。 ■交付事業（7月29日審査） ・子どものためのピアノデュオコンサート（デュオコンサート実行委員会） ・みんなでアイリッシュ コンサート（恵庭ライブミュージック実行委員会） ・夢創館コンサート VII（夢創館コンサート実行委員会） ■交付事業（2月1日審査） ・北海道歴史舞台絆花「中山久蔵翁物語」（一般社団法人 未来工房）	443	事業交付予算限度額50万円
継続	文化事業派遣費補助金	通年			■青少年・文化振興基金を運用し、全国大会等に派遣又は出場する団体や個人に対し、補助金を交付する。	0	事業交付予算限度額10万円
継続	文化功労者・スポーツ功労者 ・青少年表彰式	11月2日	市民会館中ホール		恵庭市の文化・スポーツ・青少年の向上・発展に貢献された方々を顕する。健康スポーツ課と合同で実施。	485	※表彰式全般にかかる費用 (会場費等)
	※文化功労者表彰について明記			文化奨励賞 1人 文化振興賞 2人 ※文化賞 申請なし	◆文化奨励賞 長坂 榮子 氏（芸術：美術） ◆文化振興賞 石田 貢 氏（科学：花苗研究） 宮 雅章 氏（芸術：民謡・尺八）	56	※文化功労者表彰にかかる 費用（表彰額）
継続	文化団体の育成 (文化芸能・郷土芸能団体)	通年			・文化協会事業費補助金 268,000円 ・恵庭すずらん踊り保存会事業費補助金 140,000円 ・恵庭岳太鼓保存会事業費補助金 100,000円	508	

継続	文化・芸術共催事業	通年	市民会館大ホール		・村元絵美 ピアノリサイタル～季節で感じるクラシック～ Part4.Spring（5月21日） ・第27回全日本中学生・高校生 管打楽器ソロコンテスト予選第13回 北海道大会（12月17日）	0	市の役割 ・会場の減免 ・広報活動支援
			夢創館		・豊川容子withのりたまコンサート～オマナングルの唄～（10月16日） ・村元絵美 Classic Tourism Vol.1 はじまりの音楽 「さあ、クラシックを聴こう」（12月11日） ・姉弟ストリングスデュオコンサート（3月21日）		
継続	えにわ芸術文化宅配事業	通年	展示箇所 46ヶ所 （工場・金融機関・事業 ・飲食店等）	展示作品数 157点	まちの有効空間に地元作家の芸術作品を展示してもらうことで、 市民に芸術作品の鑑賞機会を提供する。事業は、文化協会傘下 団体に組織した「えにわアート・バンク」に委託。	188	
継続	えにアート・ギャラリー	通年	花の拠点(はなふる) フレスポ恵み野	はなふる展示 5件 フレスポ展示 0件	恵庭市内で文化芸術活動に励んでいる方の発表の場並びに、市民が文 化芸術作品に触れる場を増やすことを目的に、花の拠点（はなふ る）、民間施設フレスポ恵み野の一部スペースを借り上げ、発表場所 として提供している。 ■展示団体 ・日本習字墨の会（書道） 令和4年 6月 3～17日 ・恵書連日本習字恵央支部墨香会（書道） 令和4年 8月18～31日 ・とるまりんちゃん（絵） 令和4年 9月 6～22日 ・大西 ひとみ 氏（絵手紙） 令和4年11月11～24日 ・恵庭南高校美術部（絵画） 令和5年 2月14～27日	0	
継続	恵庭市交流都市芸術祭	2月23～26日	夢創館	218名 ※来場者数 （前回0名）	友好都市である静岡県藤枝市との隔年で開催しており、恵庭 市開催の際は、姉妹都市である山口県和木町を加え、各都市 の文化芸術作品を展示。 ※本年度は藤枝市開催年であるが、藤枝市からの変更依頼に より、本市にて開催。 ※前回はコロナ禍のため展示会を中止し、市文化協会ホーム ページ内にギャラリーを開設して開催。	200	<共催> 恵庭市文化協会

新規	恵庭市の文化を語る会	第1回 1月31日 第2回 2月20日	夢創館		市民との協働による文化芸術活動を推進するため、市内で活動されている方を中心に参加いただき、今後の課題などについて意見交換を行った。 初年度は、本市の文化芸術の現状や振興のあり方について、進行役から有識者4名に懇談していただく会を2回開催。 ■第1回懇談者：高橋 正彰氏（文化協会会長） 水高 和彦氏（美術協会会員） 川股 洋一氏（すずらん踊り保存会会長） 石井 美季氏（ピアノ講師） ■第2回懇談者：竹内 春樹氏（日吹指協道支部理事他） 竹内 誠裕氏（エコフェス主催他） 清武 昌氏（子どもの心を育てる美術教室他） 山口 龍二氏（チーム絆花主催団体役員） ※ファシリテーター：水野 みどり氏（生涯学習推進協議会委員他） 太田 実保氏（社会教育委員） 大塚 ひろみ氏（文化協会）	0	
	夢創館自主文化事業					0	<主催>
新規	* Fuente（フエンテ） ～音の泉～ コンサート	5月7日	夢創館	70名	TVやCMのレコーディング等で幅広く活動する瀧本志保さん（ヴァイオリン 市内在住）、古館賢治さん（ギター）、佐藤裕一さん（ハンドパン・カホン）の3人が織りなす異国情緒溢れる室内楽演奏会を開催。 新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じて開催された。		夢創館指定管理者 〈NPO法人島松夢創館倶楽部〉
継続	* 典大さんの絵本 パフォーマンスライブ	7月16日	夢創館	33名 (前年度0名)	絵本パフォーマーの岸田典大絵本+音楽+αの新しい読み聞かせスタイルにより、にぎやかに子どもだけでなく大人も楽しめる絵本の読み聞かせ開催。 新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じて開催された。		
継続	* 手作り雑貨マーケット in夢創館（第5回）	9月10日	夢創館	170名 (前年度208名)	市内及び近郊の作家による、手作り雑貨のマーケットを開催。集客も多く、次年度も継続していく意向である。 新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じて開催された。		
継続	* 2022オーロラ上映& トークライブ 「宇宙からの贈りもの」	12月24日	夢創館	60名 (前年度0名)	オーロラを求めて、アラスカやカナダで写真撮影を行っている中垣哲也氏を招聘し、アラスカの自然・野生とリアルな超高品位オーロラ映像で講話と共に提供。連続写真等によるオーロラの動画が音楽と共に映し出され、小学生から高齢者までの幅広い参加者が魅了された。世代間交流と自然科学学習の両面の成果が得られた。		
継続	夢創館連携事業 * いきいき100歳体操	第1・3 月曜日 10時～	夢創館	22回延べ348名 ※2月10日現在 (前年度23回延べ287名)	いきいき百歳体操は座ったままできる介護予防の体操であり、公民館や島松支所で行っていた100歳体操を夢創館でも今年度より開催した。居場所としての機能もあり、人の流れにもつながった。	0	<連携> 夢サロン

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	市民講座	I 期 4～9月 II 期 10～3月	社会教育施設等4会場	一般市民 12講座 4会場 I 期168名 II 期173名 (218名)	◎市民の皆さんに、基礎的な知識・技能を身につけていただき、学習を通して学ぶ喜びを味わい、生活に潤いと張りを持ち、講座生相互の触れ合いの中からより豊かな人間性を身につける学習活動を進めている。 1回の学習時間は2時間程度 毎月2回 年20回開催 (1講座当たり)	1,720	
継続	公民館外国語講座 * 英会話基礎講座前期 * 英会話基礎講座後期 * ロシア語基礎講座	5～7月 9月～11月 10月～11月	市民会館	一般市民 7名 (オンライン講座31名) 8名 (11名)	◎外国語の基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る機会とする。 英会話基礎前期：小6～中1程度の英会話 英会話基礎後期：中1～中3程度の英会話 ロシア語基礎：初歩的なロシア語の読み・書き、日常的なロシア語会話等	230	
継続	公民館サークル	4～9月	社会教育施設等9会場	一般市民 326名 (367名) * 32サークル	◎市民講座、各種講座での学習成果を継続しながら教養を高め学ぶ喜びを味わい、生活に潤いを持ち、サークル相互の輪を作り豊かな人間性を身に付ける学習活動を進めている。	0	自主運営事業
継続	日曜趣味講座 * デジタルカメラ写真展 * そば打ち基礎講座	 8月21日～28日 10月16日	公民館	一般市民 延べ100名以上 市民5組、6名 (7名)	◎関心の高い「食」及び「パソコン」、「デジカメ」などをテーマに平日の講座に参加できない人に参加の機会をつくる。 参加者がそば打ちの基礎的な知識や技術を知り、打つ楽しさを味わうことが出来た。	118	
継続	親子ふれあい教室 * 親子で楽しいパンづくり * クリスマスケーキづくり * ひなまつりケーキづくり	 4月23日 12月10日 2月18日	公民館	小学生と親 保護者8名、子ども10名 (22名) 保護者11名、子ども13名 (7組) 保護者4名、子ども4名 (中止)	◎子供たちに創作や遊びの技術を学ばせるとともに、作業を通じ親子が触れ合う機会とする。 親子が楽しく協働でパン作りをしながら、親子の絆を深めていた。 参加者の感想では、初めてパン作りをして楽しかったこと、いろんなパンを作れてうれしかったことなどの意見があった。 親子で協働しながらケーキ作りに楽しく取り組み、親子の絆を深めていた。 参加者からは、「楽しかった」「親子で作れて思い出になった」「また参加したい」などの感想があった。	48	

継続	市民講座IT講習事業 * 「パソコン教室」 前期	5～7月	公民館	市民19名 (24名)	パソコンに興味のある市民を対象に、パソコンの基本的操作をはじめ文書作成、インターネット接続及び検索方法などの情報活用の仕方を具体的なパソコン操作通して学ぶ機会とする。 初級講座:マウス操作、文字入力、簡単な文書作成、インターネット 中級講座:ワード基礎(罫線ほか)、エクセル基礎(表計算、簡単な関数ほか)	518	
	* 「パソコン教室」 後期	8月～10月	公民館	市民16名 (15名)			
	* スマホの使い方講座	10月13日	公民館	市民19名 (4名)		35	[協力]ソフトバンク株式会社
		10月20日	市民会館	市民26名 (8名)			
		2月24日	市民会館	市民37名			
継続	公民館文化事業		公民館	一般市民	◎音楽に対する興味・関心を高め、豊かな情操を養うと共に、芸術文化の振興を図り、ファミリーのふれあいや絆を深める。 小さな子どもを連れて家族ぐるみで音楽に親しんでもらうことが本事業の趣旨であり、講師の願いでもあり、子どもたちが生の音楽に触れ、聴くことを学ぶ機会として、また気軽にクラシック音楽に触れられる機会として実施できた。	92	
	* 親子ピアノコンサート	5月21日		85名(前年度中止)			
	* クリスマスピアノコンサート	12月17日		120名 (92名)			
新規	くらしに役立つ健康講座	8月23日	市民会館	市民19名	眠りと健康の知識を深め、より良い睡眠の摂り方や睡眠環境を考える。	5	[協力]明治安田生命相互会社
		9月8日	市民会館	市民15名			
継続	文化交流講座 * 講演会 「アイルランドのことを知ろう」	11月15日	夢創館	市民32名 (23名)	◎異文化交流・国際理解の大切さを学ぶ 映像や資料を活用した説明で参加者の興味や関心を高めることが出来た。また、講師によるフルート演奏（アイリッシュ音楽）は受講者に感動を与え、好評だった。	19	
継続	島松公民館まつり (えにわ市民文化祭同時開催)	月1日～3日	公民館	舞台521名 (中止) 展示360名	◎公民館まつりを通じて幼児から高齢者まで多くの地域住民が参加し、地域の活性化を図り交流を深める。	190	

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	図書貸出	通年	緑のカフェ、プレイスペース1・2 会議室、クラークルーム	貸出件数33件 (前年度貸出件数20件)	市民より新たな蔵書約600冊の寄贈を受け、会議室に展示コーナーを設置。また、今まで貸出し対象としていなかった蔵書についても、新たに貸出しし、利用者増を図る。 かしのもり文庫への寄付申込（受付）状況（開設後：個人） H28 5件、H29 17件、H30 16件、R1 8件、R2 8件、 R3 14件、R4 6件	0	指定管理実施事業
継続	壁面描画	通年	プレイスペース1 (ホワイトボード壁面)	来館者	四季・季節の行事等を題材に、年3回プレイスペース1のホワイトボード壁面に描画。 1回目 4～8月 2回目 9～11月 3回目 12～3月	0	指定管理実施事業
新規	絵本作家サトシンの 絵本たのしくよみまショー	7月26日	スポーツ練習場	30名	絵本作家を招き、絵本の読み聞かせによる会話や歌、クイズ等を行った。	0	指定管理実施事業
継続	展示・情報提供	通年	エントランスホール 掲示版（廊下） 展示コーナー	来館者	(1)かしのもりフォトコーナー エントランスホールに、かしのもりで実施されたイベント、行事等の写真を展示。 (2)かしのもり情報コーナー 廊下の掲示版を活用し、市及び地域関係団体等から寄せられる啓発ポスターやイベント、行事参加案内等を掲示し、地域における情報発信の役割を担う(30～40件程度の掲示が可能)。 (3)かしのもり展示コーナー 照明・ピクチャーレールを設け、作品等を展示。通年として「えにわ芸術文化宅配事業」にて6作品を展示。	0	指定管理実施事業
新規	蝶々展	8月4～11日	談話室	来館者	郷土資料館の保有する蝶々標本について、夏休みの子どもや市民に向け展示。	0	指定管理実施事業

継続	四季に合わせたイベントの開催 桜まつり *鯉のぼり・五月人形展示	4月16日 ～5月7日	クラークルーム、プレース1、 会議室	来館者	館内に鯉のぼりや五月人形を展示。	0	指定管理実施事業
	*写真展示		エントランスホール	来館者	昨年開花した桜の写真を展示。	0	
	*桜の開花鑑賞		春の庭 プレースエントランス屋上	来館者	桜の開花時期にあわせ、「春の庭」に椅子やテーブルを設置し、開放。また、夜間にライトアップし、屋上を開放。	0	
	*緑のカフェ特別メニュー		クラークルーム・春の庭	131名(前年度 0名)	飲み物と団子のセットを提供し、春の庭を開放。	0	
	*抹茶体験		プレース1	72名(前年度 0名)	公民館サークルの協力により、「抹茶体験」を実施。	0	
	*七夕イベント (子どもひろばと共同実施)	7月12日 ～8月6日 8月7日	クラークルーム 春の庭 春の庭	43名	子どもひろばに参加する子どもたちが手作りした短冊等の七夕飾りでクラークルーム内を装飾。 8月6日 シャボン玉遊び、ヨーヨー釣り 8月7日 七夕イベント、七夕飾りに装飾した柳の木を設置。	0	
	*ハロウィンイベント (子どもひろばと共同実施)		クラークルーム エントランスホール	来館者	ハロウィン飾り物製作		
	*クリスマスイベント (子どもひろばと共同実施)		スポーツ練習場	48名	「手品を見よう」と緑のカフェ特別メニュー提供		
新規	*ひな祭り	2月12日 ～3月3日	クラークルーム・プレース1	来館者	ひな人形展示、琴の演奏、緑のカフェの特別メニュー提供		指定管理実施事業
	スマートフォン教室	8月10・17日	会議室	14名	スマートフォンの使い方がよくわからない高齢者等に対しレクチャー。	0	
	JTBオンラインツアー (パンダコース)	8月18日	スポーツ練習場	28名	JTBが実施するパンダと世界各地を結ぶオンラインツアーに、プロジェクターやスクリーンを使用し参加。	0	
	ポッチャ体験会	11月14日	スポーツ練習場	11名	低年齢からでき、世代間交流に役立つスポーツ体験。	0	
	昔遊びと軽スポーツ体験会	11月19日	クラークルーム・スポーツ練習場	33名	戦時中にあった遊びを世代間交流も兼ねて行い同時にポッチャ・カラーリングの軽スポーツも行った。	0	
	クリスマスイベント	12月10日	スポーツ練習場	48名	幼児から高齢者まで手品を鑑賞した。緑のカフェの特別メニュー提供。	0	
	親子体操	1月23日	スポーツ練習場	14組	親子で一緒に安全に行える体操を体験した。	0	
	琴演奏会	2月19日	スポーツ練習場	36人	柔らかい音色の琴演奏を鑑賞する。	0	
新規	マリンバミニコンサート	2月27日	スポーツ練習場	28人	普段聞くことのないマリンバの演奏を体験する。	0	指定管理実施事業
継続	ひな祭り	2月12日	クラークルーム・プレース1	来館者	ひな人形を展示し色紙などで壁・窓の飾り付けを行う。	0	指定管理実施事業

【読書推進課】

領域：読書推進

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額 (千円)	備考
継続	展示事業 * 絵画サークルえのぐ箱小作品展 4月20～5月1日 * 山本紘正個展「恵庭を描く」 5月3～15日 * 山本紘正絵画教室展 5月17～29日 * フォトクラブ写真展示 6月1～12日 * 切り絵（齋藤彰一） 6月14～26日 * 作品展（淡彩はがき絵） 7月1～8日 * デッサン展（石膏デッサン2B会） 7月9～15日 * 竹津昇絵画教室展 8月16～25日 * 花とも写真展2021 8月27～9月6日 * 島松絵画同好会 9月10～18日 * 市民講座水彩画作品展 9月20～29日 * 「もりのやきゅうちーむふあ いたーず原画展」10月1～16日 * 本のショーウィンドー 11月1～13日 * 野鳥写真「Wing II-翼」 11月16～22日 * ヤッフオート写真展 11月23～30日	随時	本館ギャラリー	一般	市内で文化活動が続けている個人、団体の発表の場。		指定管理実施事業

	* 恵庭美術協会小作品展 12月1～7日 * 広島の高校生が描いた原爆の 絵展 12月8～14日 * JAPANESE GIRL 2 12月15～28日 * 恵庭書道連盟書初め展 1月17～22日					
継続	雑誌スポンサー制度	通年	本館 恵庭分館 島松分館	18件/31誌・企業、個人 (前年度 18件/30誌)	企業や店舗・個人が社会貢献の一環として雑誌を提供する制度。 提供雑誌の「最新号」のカバーと雑誌架にスポンサー名を表示、 カバーの裏面に会社概要などを周知。	指定管理実施事業
継続	子ども読書の日記念事業 * 展示「この本読んだ?2022」	4月9日 ～5月5日	全館	幼児から中学生	平成13年12月制定「子ども読書活動の推進に関する法律」で定められた「子ども読書の日」を広く周知するために開催。	指定管理実施事業
	* こどもの日上映会	4月30日	本館	47名		
	* 親子のためのパベツ シアター	5月3日	本館	50名		
継続	えほんの世界がひろがる！ ニコニコさつえい会	4月24日 9月4日 2月5日	本館	3回 69名 (前年度 27名)	1歳未満の乳児に絵本の一場面に入ってもらふ撮影会を実施。	指定管理実施事業
継続	ゲリラ工作会	5月28,29日 6月4,12, 18,19日 7月10,16, 23日 8月6,7日 9月11,17 18日 10月15,29日 11月13,26日 12月4,17日 2月12,18日	本館	22回 365名 (前年度 11回164名)	事前告知せず来館者限定で工作会を開催。	指定管理実施事業
新規	全館リレー特集展示 「本が泣いています」	6月4日 ～23日 2月14日 ～28日	島松分館 本館		汚損や破損・落書き等で貸出ができなくなった本の展示。	指定管理実施事業
継続	本のリサイクル市	6月5日 9月25日		(前年度 中止)	市民から提供いただいた不要な本の再活用を目的にリサイクル市を開催。	指定管理実施事業

新規	ガーデンフェスタ北海道2022 ブース出店	7月7日 ・8日	はなの拠点はなふる		自治体ブースにおいて、図書館オリジナル絵本の販売と原画展及 まちじゅう図書館のPR事業を実施。		指定管理及び 読書推進課実施事業
新規	恵庭市立図書館開館30周年 記念展示	7月17日 ～31日	本館	一般	恵庭市立図書館の歩みをパネル展示。		指定管理実施事業
継続	ハッピーマンデーミニ工作会	7月18日 9月19日 10月10日	本館	3回 45名 (前年度3回 49名)	祝日開館周知のミニ工作会を実施。		指定管理実施事業
継続	調べる学習講習会	7月28日	本館	6名・小学生等 (前年度7名)	「小中学生調べる学習コンクール」に向け、小学生を対象に調べ 学習のポイントや調べ方のコツを説明。		指定管理実施事業
新規	本館夏のスペシャルおはなし会	7月28日	本館	22名	大型絵本・紙芝居などの読み聞かせを実施。		指定管理実施事業
継続	終戦記念日関連事業 ＊原爆パネル展示	8月2日 ～14日	本館	一般	8月の原爆の日を迎える期間において、原爆のパネル展示を実施。		指定管理実施事業
継続	夏の作品展覧会 ～おうちに置いておくだけじゃ もったいない！～	8月2日 ～31日	本館 恵庭分館 島松分館	一般 13名 (前年度21名)	利用者が図書館の本を読んで作った作品を、その本とともに紹介 し展示。募集7月12～31日		指定管理実施事業
継続	島松分館 夏のスペシャルおはなし会	8月7日	島松分館	12名	大型絵本・紙芝居などの読み聞かせを実施。		指定管理実施事業
継続	大人のためのお話会	8月10日 11月9日	本館	29名	大人を対象としたお話会。		指定管理実施事業
継続	終戦の日平和祈念上映会	8月13日	本館	一般 12名 (前年度8名)	戦争に関する上映会を実施。		指定管理実施事業
継続	恐怖の図書館 ～夜の謎解き図書館～	8月14日	本館	24名 (前年度10名)	閉館後の図書館で謎解きゲーム等のイベントを開催。		指定管理実施事業
新規	今村翔吾のまつり旅in恵庭	9月7日	本館	37名	直木賞作家・今村翔吾氏を招いての講演会。		指定管理実施事業
新規	人形劇団クラルテ公演	9月23日	本館	54名	関西の劇団を招いての人形劇公演を開催。		指定管理実施事業
新規	「はなちゃんのおでかけ」 絵本原画展	10月1日 ～28日	島松分館		恵庭オリジナル絵本の原画展を分館で実施。		指定管理実施事業
継続	第30回としょかんまつり	10月8日	本館	※前年度中止（代替上映会等を実施）	コロナ禍により「としょかんまつり実行委員会」の主催が困難と なり、指定管理者主催で実施。		連携事業
新規	絵本作家堀川真さんワークショップ	10月8日	本館	97名	道内在住の絵本作家による工作教室を開催。		指定管理実施事業
新規	「君のとなりで。」完結記念 高杉六花さん講演会	10月22日	本館	55名	恵庭市在住作家の講演会を開催。		指定管理実施事業
継続	ハッピーハロウィン仮装おはなし会	10月29・30日	本館	16名	ハロウィンにちなんだおはなし会を開催。		指定管理実施事業

継続	大人のための朗読会 ー北海道ゆかりの文学を読むー	11月6日	本館	29名	大人を対象とした朗読会。		指定管理実施事業
継続	図書館に住んでみるツアー	11月12日	本館	16名 (前年度中止)	市民との協働で実行委員会を組織、図書館に泊まり、夜の図書館を体感するツアーを開催。		市民との協働
継続	シネマ☆馬拉ソン	11月19日	本館	13名 (前年度 17名)	1日2作品の上映会を開催。		指定管理実施事業
継続	図書館開館24時	11月26日	本館	268名 (前年度 122名)	市民との協働で実行委員会を組織。図書館を深夜まで開館し、音楽会などの催しのほか、本の貸出を実施。		連携事業
新規	鳥羽和久さん講演会 「自分の言葉で生きるために」	12月3日	本館	9名	福岡県の唐人町寺子屋塾長の講演会を開催。		指定管理実施事業
継続	ぬいぐるみとおとまり会	12月11日	本館	23名 (前年度 9名)	子どもたちのぬいぐるみを預かり、図書館での活動風景をアルバムにしてプレゼントするイベント。		指定管理実施事業
継続	島松分館 冬のスペシャルおはなし会	12月18日	島松分館	10名	大型絵本・紙芝居などの読み聞かせを実施。		指定管理実施事業
継続	図書館お年玉抽選会	1月6日	本館・恵庭分館・島松分館	199名 (前年度 236名)	雑誌等の付録を活用し、くじ引きができる抽選会を実施。		指定管理実施事業
新規	冬のスペシャルおはなし会	1月7日	本館	9名	大型絵本・紙芝居などの読み聞かせを実施。		指定管理実施事業
継続	お正月を遊ぼう！	1月9日 1月10日 1月14,15日	本館 恵庭分館 島松分館	97名 (前年度 139名)	すごろくやかるたに合わせて、読み聞かせや福笑いのパネルシアターを開催。		指定管理実施事業
新規	手話で楽しむおはなし会	3月19日	本館	13名	絵本の読み聞かせを手話で行うおはなし会。		指定管理実施事業
新規	図書館なぞ解きイベント ～ひゃっか王からの挑戦状～	3月29・30日 3月21・26日	本館 島松分館	26名 15名	ポプラ社が配布しているイベントキットを使用したイベントを開催。		指定管理実施事業
継続	家読（うちどく）推進事業 ＊うちどくノート、ブックリストの作成・配布	通年	本館 恵庭分館 島松分館		家庭で同じ本を読み、感想を話し合うことでコミュニケーションを深める「家読(うちどく)」の普及に努める。 ・「うちどくノート」「この本読んだ?ブックリスト2022」の作成・配布		読書推進事業・学校図書館活動推進事業及び指定管理業務
	＊家読（うちどく）講演会 「みやにしたつや絵本ライブ」	5月28日	市民会館	108名 (前年度 中止)	絵本作家・宮西達也氏による読み聞かせを交えた講演。		
継続	保健センター訪問事業 1. ブックスタート	毎月1回	えにあす	9・10カ月児と親 12回 451部 (前年度 12回 425部)	乳児期における利用サービスの取り組みとして、9・10ヶ月児健診に参加した絵本・絵本ガイドなどが入った「ブックスタートバック」をプレゼントする。		指定管理実施業務
	2. ブックスタートプラス	毎月1回		1歳6カ月児と親 12回 476部 (前年度 12回 412部)	家庭での読書環境の継続と充実を図るため、1歳6ヶ月児健診に参加した親子に絵本1冊と絵本ガイドをプレゼントする。		

継続	おはなし広場	随時	本館 恵庭分館 島松分館	65回 373名・乳児から児童 (前年度 181名) 20回 126名・乳児から児童 (前年度 63名) 24回 151名・乳児から児童 (前年度 94名)	児童奉仕活動の基本的な事業として、絵本の読み聞かせ、紙芝居等を実演。市内の読み聞かせサークルの協力を得て実施している。午前の部は乳幼児、午後の部は幼児～小学校低学年が対象。		指定管理実施事業 図書館所蔵資料を活用
継続	BALLOONおはなし会	随時	本館	10回 118名・小中学生から一般 (前年度 79名)	洋書絵本の原語による読み聞かせ。児童が異文化に触れ、国際感覚を養うことを目的とする。読み手は図書館員と市教委ALT。		指定管理実施事業 図書館所蔵資料を活用
継続	映画会 * 大人向け映画会	毎週 水曜日	本館	50回 511名・児童から一般 (前年度 173名)	上映許諾済又はパブリックドメインの映画を上映。		指定管理実施事業 図書館所蔵資料を活用
	* 子ども向け映画会	第2・4 土曜日	本館	23回 139名・児童から一般 (前年度 62名)			
継続	学校教育機関との連携事業 * 学校への総貸出	随時		8,872冊・小中学生 (前年度 10,028冊)	学級文庫・児童生徒教職員への貸出・学校図書館での特集コーナー等、公共図書館から各小中学校へ貸出を行った冊数の総数。		指定管理実施事業 学校配本システムを活用
	* 学級文庫			7,950冊・小中学生 (前年度 8,540冊)	前項のうち、各小中学校の学級内において利用する「学級文庫」への貸出分。		
	* 総合学習への支援			0件 0名 (前年度 3名)	総合学習、調べ学習のための図書館団体利用の受入。		
	* 職業体験学習			0名 (前年度 0名)	図書館司書業務の体験学習の受入。		
	* 職員派遣			3名 (前年度 2名)	事例報告や講習会講師等。		
	* 実習生受入			0名 (前年度 0名)	大学の図書館司書課程を履修している学生の実習受入。		
継続	団体利用受入	随時		団体 283名 (前年度 299名)	幼稚園、小学校等の見学など団体利用の受入。		指定管理実施事業
継続	高齢者・障がい者等サービス * 図書宅配サービス	通年		3名11冊・来館困難者 (前年度25名108冊)	高齢者など図書館来館が困難な市民に対し、図書の貸出や返却を有償で実施する。		指定管理実施事業
	* 図書の音訳	通年		0件・障がい者 (前年度 0件)	恵庭市朗読赤十字奉仕団による図書の音訳。		
	* 郵送貸出	通年		0名・障がい者 (前年度 0名)	視力に障がいを持つ方への録音図書や点訳図書の郵送貸出。		

	*サビエサービス	通年		2名 24冊・障がい者 (前年度 2名 10冊)	視力に障がいをお持ちの方へ、サビエ(日本点字図書館のシステム)が持つデージーデータ等のダウンロードと提供を行なう。		
	*対面朗読サービス	第2・4 水曜日	本館	0件・障がい者 (前年度 1件)	恵庭市朗読赤十字奉仕団の協力により、視覚障がい者への対面朗読を実施。		
継続	ブックステーション事業	通年	黄金ふれあいセンター	1,241名 1,743冊 (前年度 1,387名 2,136冊)	図書館の予約本を受け取り、返却できるサービスポイント。		
			生涯学習施設かしわのもり	804名 1,300冊 (前年度 552名 908冊)			
継続	高校ブックライン	通年	恵庭北高校	23名 38冊 (前年度 13名 21冊)	生徒・教師を対象に予約本の配本を行う。		
			恵庭南高校	35名 43冊 (前年度 0名 0冊)			
継続	恵庭まちじゅう図書館	通年	市内	40館 (前年度43館)	人とまちを育む読書条例制定を機に開始した事業。市内の様々なカフェやオフィスなどに店主や社員などのお気に入りの本を展示し、訪れた人と本の会話を楽しむ読書コミュニティ事業。		

【郷土資料館】

領域：郷土資料館

新規/継続	事業名	開催日	実施場所	参加人数・対象 (前年度参加人数)	事業内容	決算額(千円)	備考
新規	企画展「金属製品と保存科学の世界」	4月16日 ～5月22日 (31日間)	郷土資料館	724名	資料館では、令和元年度から3年度に、(公財)三菱財団等の助成や国等の補助金を利用して、遺跡出土の金属製品の修復を実施した。それら貴重な金属製品を展示し、また修復の方法などについても写真やパネルで解説。	10	(小中学生 121名)
継続	カリンバ土曜講座①	5月21日	郷土資料館	20名 (前年度19名)	演題「金属製品と保存処理の世界」 講師 恵庭市郷土資料館 学芸員 杉浦正和	0	
新規	自然観察会	5月28日	カリンバ自然公園とその周辺	20名	カリンバ自然公園とその周辺の野鳥を中心とする自然観察と国指定史跡カリンバ遺跡について解説。	5	(小中学生 2名)
継続	歴史の道散策会	6月11日	市道恵庭線	14名	市道恵庭線沿いの歴史的にゆかりのあり場所を説明しながら散策。	0	(小中学生 2名)
新規	企画展「石の魅力」	7月2日 ～9月4日 (51日間)	郷土資料館	1,963名	当館所蔵資料である縄文時代と現代の石製品・原石・化石のほか、個人所蔵の化石を展示。また石や鉱物などについて、写真やパネルで解説。	2	(小中学生 866名)
継続	カリンバ土曜講座②	7月9日	郷土資料館	17名 (前年度14名)	演題「島松軟石の建物について」 講師 恵庭市郷土資料館 学芸員 大林 千春	0	
継続	レコード鑑賞会①	7月10日	郷土資料館	7名	郷土資料館ボランティア共催事業。収蔵しているレコードリストを提示し、参加者のリクエストに応じてレコードを視聴する。	0	
継続	アイヌ文化学習見学会事業1回目	6月18日	平取・新ひだか町	25名	市民を公募し、平取町と新ひだか町の博物館や遺跡で現地学芸員の解説を受けて、アイヌ文化を学ぶバスツアーを実施。	88	(小中学生 0名)
継続	アイヌ文化学習見学会事業2回目	7月24日	白老町	14名	市民(大学生以下)を公募し、国立アイヌ民族博物館でアイヌ文化を学ぶバスツアーを実施。	82	(小中学生7名)
継続	アイヌ文化マスター育成事業	①6月19日 ②7月3日 ③8月6・7日 ④9月4日 ⑤10月15・16日 ⑥11月3日 ⑦12月11日 ⑧1月15日 ⑨2月19日	郷土資料館 恵庭市盤尻 釧路市阿寒等 郷土資料館 平取・新ひだか町 郷土資料館 白老町 郷土資料館 郷土資料館	毎回6名	市内に在住する中高生のうち公募した6名が、計9回の講座や体験でアイヌ文化を学ぶ。	903	(中学生 6名)

継続	「第9回 カリンバまつり」	7月23日	郷土資料館	83名 (前年度 31名)	市民を公募し、資料館学芸員を講師として勾玉作りと縄文土器作りを実施。資料館の中庭で北海道文教大学共同研究『ENIWA学』（代表：加藤教授）による朗読劇『銀河鉄道とカリンバの夜のために』を開催。	10	(小中学生30名)
継続	常設展示室入替展 「戦争資料展」	8月2日 ～8月25日 (20日間)	郷土資料館	811名 (前年度 593名)	常設展示室「昭和コーナー」を一時撤収し、市民より寄贈を受けた戦争関連資料約70点を展示。	0	(小中学生328名)
継続	クイズ&スタンプラリー	8月2日 ～8月14日	郷土資料館	123名	夏休み事業。館内のスタンプを押し、企画展「石の魅力」に関連するクイズに正解した参加者にガチャ機用コインを配布。ガチャ機より同展展示資料のキーホルダーが当たる。	0	(小中学生123名)
継続	漁川の生きもの観察会	8月6日	漁川あかね橋上流むつみ公園駐車場付近	5名	漁川に生息する魚や水生昆虫をたも網で捕獲し、観察を行う。	0	(小中学生4名)
継続	カリンバ土曜講座③	9月10日	郷土資料館	13名 (前年度13名)	演題 「ユカンボシE1 遺跡の発掘調査 ～令和3年度の発掘調査成果～」 講師 恵庭市郷土資料館 学芸員 鈴木 将太	0	
新規	「古里チョイ散歩」見学会	①9月10日 ②10月8日 ③10月22日	見学地：市道恵庭線	① 2名 ② 3名 ③ 6名	郷土資料館ボランティア共催事業。 郷土資料館ボランティアが案内ガイドを務め、市道恵庭線沿の歴史的にゆかりのある場所を少人数で訪ね歩く。	5	(小中学生1名)
継続	企画展「特別公開2022 カリンバ遺跡重要文化財 漆塗り装身具」	中止		中止		0	
新規	写真展 「恵庭の歴史（あゆみ）」 第一部：明治～昭和初期 第二部：昭和10年代～昭和45年	①10/8～10/21 ②11/26～12/18	郷土資料館	① 285名 ②313名	恵庭に役場ができて100年目を迎えたことを記念して行われた恵庭市開基100年記念事業の開催から今年で25年となる。当時、プレ記念事業として行われた写真展で展示された写真を紹介し、四半世紀を経て再び恵庭のあゆみを振り返る。	0	①（小中学生30名） ②（小中学生107名）
継続	第9回カリンバ講演会	10月23日	恵庭市民会館	48名 (前年度47名)	演題 「新恵庭市史考古部門の執筆陣が語る恵庭の歴史」 講師 札幌国際大学縄文世界遺産研究室長 越田賢一郎氏外2名	31	(小中学生 0名)
継続	レコード鑑賞会②	10月23日	郷土資料館	4名	郷土資料館ボランティア共催事業。収蔵しているレコードリストを提示し、参加者のリクエストに応じてレコードを視聴する。	0	
新規	恵庭消防創立100周年1年前記念展	11月3日 ～11月20日	郷土資料館	704名	恵庭市消防本部共催事業。大正12年に恵庭村消防組が公設されてから令和5年で創立100周年を迎えるにあたり、消防のあゆみを振り返る。防火衣の歴史、最新鋭の放水機器、消防写真今昔等を紹介。 消防クイズ:正解者にガチャ機より消防車両缶バッジを配布。 11/3：スタートイベントとして消防車両展示、放水体験を実施。	5	(小中学生244名)

継続	カリンバ土曜講座④	11月19日	郷土資料館	18名	演題 「カリンバコタンについて」 講師 恵庭市郷土資料館 学芸員 長町 章弘	0	
継続	令和4年新収蔵資料展	1月4日 ～1月26日	郷土資料館	174名 (前年度112名)	令和4年中に市民より寄贈を受けた資料 33件283点の中から約50点を紹介。	0	(小中学生36名)
継続	ひな人形展	2月4日～ 3月12日	郷土資料館	1,053名 (前年度554名)	これまでに寄贈を受けた明治から平成までの8組のひな人形を展示。	0	(小中学生548名)
継続	ふるさと教育宅配事業	6月 ～11月	市内小学校		郷土資料館収蔵資料を4テーマごとに市内の8小学校に貸出し、巡回して展示を行う。	68	

令和4年度 恵庭市教育委員会 社会教育事業報告

令和5年4月作成版

編集 恵庭市教育委員会

教育部社会教育課

〒061-1498 恵庭市新町10番地

Tel 0123-33-3131 内線1711

E-mail : syakaikyouiku@city.eniwa.hokkaido.jp
